

新型コロナウイルスが拡大し、まん延防止等重点措置が適応され、どりーむコンサートは紆余曲折を経て、2月末現在、もも組は合唱・合奏を収録しましたが、ばら・すみれ・さくら組は合奏のみを収録したところです。合唱は、感染防止に留意して3月上旬に収録する予定です。皆様には、当初の予定から何度かの変更でたいへんご迷惑をおかけしていますこと、お詫び申し上げます。皆様にはDVDで子ども達の演奏をお届けすることになります。届きましたら、ご家族で鑑賞され、ご家族のきずなをさらに深めていただけたらと思います。

令和3年度がスタートして間もなく1年が過ぎようとしています。振り返ってみると、子どもたちは、どの学年も、どの子どもも、みんな、成長してきました。身長も体重もですが、言語能力、運動能力、そして、「こころ」も成長してきました。

春先、夏休み明けなど、朝、玄関先で、お家の人とお別れするとき、全身で力いっぱい泣いていた子ども達が、いつの間にか泣かなくなっていました。

朝のご挨拶の「おはようございます」が言えなかった子ども達が、いつしか大きな声で言えるようになりました。

お友達と頻りにトラブルを起こしていた子ども達も、いつの間にかなかよく遊んでいました。

後片付けをほとんどしなかった子ども達が、いつの間にか、トイレのスリッパを、全部きちんと並べていました。

1年間の成長、2年間の成長、3年間の成長、そして、生まれてからの成長を振り返ると、物凄い成長であることに気づかされます。驚かされます。

3月、そして4月

1年間の中で、一番劇的な2か月だと思えます

別れと出会い

もも組からばら組へ

幼稚園から小学校へ

小学校から中学校へ

3月と4月とで

環境ががらっと変わります

子ども達は 新たな環境で

また 自分自身を一段と成長させていきます

さて、今は3月

1年間のまとめ

年長者は 卒園に向けて

卒園式の練習

ちゃんとした きちんとした

厳かな式の 練習

この練習を通して

一気に大人びてくる園児たち

幼稚園から小学校への階段を上る時期

さくらぐみのみなさん

そつえんおめでとう!!

しょうがっこうでのかつやくを

たのしみにしています!!

一九八三年六月 第三十刷

編者 鹿島和夫

『一年一組せんせいあのね』

のぼっていきました

あめにむかって

でんでんむしが

やまと
なおみ

でんでんむし

1年間の園だよりの最後の締めにあつさわしいものをとあれこれ考えていましたら、右上の詩が思い出されました。今から約40年前の小学1年生が書いた詩です。『一年一組せんせいあのね』という本に載っていました。約40年前に読んでから、時々、思い出される詩です。口ずさむ詩です。特に、つらいとき、苦しいときに、思い出されます。いくばくか、力がみなぎってきます。希望が湧いてきます。一年間の締めとしてお贈りします。卒園するさくら組のみなさんにお贈りします。この園だよりを読んでいる皆様にお贈りします。